

ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 庄原作木線交通安全施設整備事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託(交付金)

ボーリングNo. 5 2 3 2 2 6 5 6 6 5 6

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	Bor No.2	調査位置	広島県三次市君田町石原				北緯	34° 52' 52.1000"
発注機関	広島県北部建設事務所				調査期間	平成28年 9月20日～平成28年 9月23日		東経 132° 50' 01.8000"
調査業者名				主任技師			現代理人	コ鑑定者
孔口標高	DL 240.22m	角度	180° 上 下 0°	方位 90° 0° 向 0°	0北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 20° 水平0° 鉛直 90°	使用機種 試錐機 エンジン	(株)ワイビーエム製 YEM-05型 ヤンマーNFD-7 ハンマ一落下用具 ポンプ 半自動型 (株)ワイビーエム製 GP-5
総掘進長	7.00m							

< 凡例 > 二子硬軟区分判定表

コア被歯区別判定表	
記号	硬 軟 区 分
A	極硬、ハンマーで容易に割れない。
B	硬、ハンマーで金属音。
C	中硬、ハンマーで容易に割れる。
D	軟、ハンマーでボロボロに碎ける。
E	極軟、マサ状、粘土状。

國化區公事

記号	風化の程度
α	非常に新鮮である。
β	新鮮である。層理面、劈開に沿ってわずかに変色があり割れ易い。
γ	弱風化している。層理面、劈開に沿って風化している。
δ	風化している。若芯まで風化している。ハンマーで簡単に崩せる。
ε	強風化している。褐色化し、指先で簡単に削すことができる。

杏花区公安

変質区分		変質状況
記号	変質区分	変質状況
1	非変質	肉眼的に変質鉱物が認められないもの。
2	弱変質	原岩組織を完全に残し、変質程度が低いもの。 または、非変質部の割合が肉眼で50%以上のもの。
3	中変質	肉眼で変質が進んでいると判断できるが原岩組織を明らかに残し、原岩判定が容易なもの。 または、非変質部を残すもののおよび網状変質部。
4	強変質	構成鉱物、岩片等変質鉱物で完全置換され、原岩組織を全く～ほとんど残さないもの。

ヨア割れ目状態判定表

記号	割れ目 状態 区分
a	密着している。あるいは分離しているが割れ目沿いの風化・変質は認められない。
b	割れ目沿いの風化・変質は認められるが、岩片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの風化・変質は認められ軟質となっている。
d	割れ目として認識できない角礫状・砂状・粘土状コア。

信 者

ヨウ形状区分判定表

記号	模式図	コア形状
1		長さが50cm以上の棒状コア。
2		長さが50~15cmの棒状コア。
3		長さが15~5cmの棒状~片状コア。
4		長さが5cm以下の棒状~片状コアでかつコアの外周の一部が認められるもの。
5		主として角礫状のもの。
6		主として砂状のもの。
7		主として粘土状のもの。
8		コアの採取が出来ないもの。スライムも含む。(記事欄に理由を書く)

株式会社薙谷建設コンサルタント